

定例記者会見資料



○日 時	令和3年9月9日(木) 13時30分～
○会 場	島根県立大学 本部棟2階 特別応接室
○会見者	清原正義 理事長・学長
○会見項目	【3キャンパス共通】 ・公立大学法人島根県立大学と平田商工会議所との包括的連携に関する協定の締結について……………〔資料1〕 ・「ごうぎん一粒の麦の会」による島根県立大学未来ゆめ基金に対する寄附金・感謝状贈呈式について(報告)……………〔資料2〕 ・米国セントラルワシントン大学オンライン授業成果発表会の開催について……………〔資料3〕 【出雲キャンパス】 ・韓国大邱韓医大学とのオンラインプログラムの実施について(報告)……………〔資料4〕
○資料提供項目	【3キャンパス共通】 ・令和3年度 公立大学法人島根県立大学職員採用試験の実施について(R4.4.1採用)……………〔資料5〕 【浜田キャンパス】 ・安全安心ロードの指定について(報告)……………〔資料6〕 ・浜田キャンパス図書館の15歳以上学外者の受け入れについて……………〔資料7〕
○その他	【3キャンパス共通】 ・新型コロナウイルスへの対応について……………〔資料8〕

※会見及び資料提供に関する問い合わせは、資料に記載されている担当者あてにお願いします。
なお、行事予定の問い合わせは、以下のとおり、お願いします。

浜田キャンパス 企画調整室 TEL 0855-24-2201
出雲キャンパス 管理課 TEL 0853-20-0200
松江キャンパス 管理課 TEL 0852-26-5525

島根県立大学
マスコット
キャラクター
オロリン



※次回の定例記者会見は 令和3年10月14日(木) 13:30から開催予定です。

令和3年9月9日
島根県立大学出雲キャンパス
管理課 澤田
電話：0853-20-0200

公立大学法人島根県立大学と平田商工会議所との 包括的連携に関する協定の締結について

公立大学法人島根県立大学と平田商工会議所とは包括的な連携に関する協定を締結することとしました。両者は相互の密接な連携と協力を図り、地域の課題解決や発展に関する取り組みを行うことで、人材育成や産学の連携に寄与することを目的としています。

つきましては、下記のとおり包括的連携協定調印式を挙行いたします。

1. 日時

令和3年9月17日（金） 10時30分より

2. 場所

平田商工会議所（島根県出雲市平田町 2280-1 電話：0853-63-3346）

3. 締結趣旨

平田商工会議所とは、平成30年に同所で策定された「平田未来ビジョン」に、島根県立大学出雲キャンパスとの連携を明記されたことを端緒として、令和元年度から平田商工会議所会員の企業及び団体等と様々な事業や連携活動を継続して実施してきました。今後、より一層の協力関係を築き、地域経済の発展や魅力ある地域づくり、魅力ある大学づくりに繋げていきたいと考えています。

4. 具体的な連携協力項目

① 教育・文化・芸術に関すること

- ・地域のオープンスペースを利用した、地元住民向け公開講座や勉強会等の実施
- ・地域のオープンスペースを利用した、平田高校生と県大生との交流活動

② 人材育成に関すること

- ・学生が商工会議所主催の事業に参加、またはボランティア活動等での協力などを通して、地域と共存、成長に繋げる。

③ まちづくりに関すること

- ・学生や商工会議所が相互に協力して行う事業の企画立案、実施

④ 産業振興に関すること

- ・学生及び教員参加による企業の商品開発への提案や協力、共同研究等の取り組み

⑤ 防災に関すること

- ・地域や周辺地域における災害ボランティア等の協力支援

⑥ 大学と企業の魅力の創出、雇用の機会の促進に関すること

- ・地域に根差した企業経営と学生への魅力ある雇用の場の提供
- ・地域の若者が大学への興味や地元で進学したいという魅力づくり

※上記のことを通年行うという形ではなく、必要に応じて協力できる体制づくりとして検討

令和3年9月9日
島根県立大学浜田キャンパス
財務課 藤田
電話：0855-24-2218
Mail：ke-fujita@admin.u-shimane.ac.jp

「ごうぎん一粒の麦の会」による島根県立大学未来ゆめ基金 に対する寄附金・感謝状贈呈式

「ごうぎん一粒の麦の会」から、島根県立大学未来ゆめ基金に対して、コロナ禍で影響を受けている学生への支援として寄附をいただきました。

下記のとおり、「ごうぎん一粒の麦の会」からの贈呈書・目録の贈呈、理事長から感謝状の贈呈を行いました。

記

1. 日時

令和3年9月2日（木） 14:00 ～ 14:20

2. 場所

島根県立大学松江キャンパス（松江市浜乃木7-24-2）
管理棟2階 応接室

3. 寄附者

ごうぎん一粒の麦の会
山陰合同銀行 代表取締役頭取 山崎 徹 氏

【ごうぎん一粒の麦の会】

1981年4月20日に山陰合同銀行創立40周年を記念して関連会社を含めた役職員有志により発足した組織で、地域活動に役立つことを目的とし、役職員有志からの募金等を医療・福祉事業者やNPO等へ贈呈されている。

4. 感謝状贈呈者

公立大学法人島根県立大学 理事長 清原 正義

5. 寄附金額

35万円

6. 寄附金の使途について

コロナ禍で影響を受けている学生への経済的な支援への活用を検討

6. 当日の様子



【担当教員】

ケイン・エレナ（浜田 C 教授）、
ダスティン・キッド（松江 C 准教授）

【担当課】

連携交流課：粟井・雪吹

TEL：0855-25-9063

Mail：t-awai@admin.u-shimane.ac.jp

協定大学(米国セントラルワシントン大学) オンライン授業成果発表会を開催します



～コロナ禍での夏季オンライン英語講座～



今学期もコロナウイルスの影響により夏季の短期海外派遣を実施できませんでした。その代替プログラムとして、協定大学（米国セントラルワシントン大学）協力の下、学生の英語力向上と異文化理解体験のため、夏休み1カ月間を利用し、オンライン授業を行いました。その成果発表会を以下のとおり開催します。

【成果発表会の概要】

日 程：令和3年10月2日（土）11：00～12：00

方 法：オンライン形式（ZOOMを使用）・一人10分程度のプレゼン（予定）

使用言語：英語と日本語

【参考】夏季オンライン英語講座の概要

参加学生：本学の学生（浜田 C 学生 9 名・出雲 C 学生 1 名・松江 C 学生 19 名）

事前学習：7月から毎週土曜日 9:00～12:10（計4回）

対面とオンラインを組み合わせたハイブリッド形式で事前準備授業が行いました。学生は各キャンパスまたは自宅から参加し、英会話の練習やディスカッション、新しいオンラインツールの利用方法を学びました。

講座内容：本学教員の支援の下、米国セントラルワシントン大学のオンラインライブ講座を受講しました。

8月2日～13日の平日に「アメリカ文化」を受講（対象：浜田 C 学生）

8月16日～27日の平日に「英会話授業」を受講（対象：全 C 学生）

【担当教員】

細川 優（出雲C准教授）、
松本 祐香（出雲C助教）

【担当課】

教務学生課：有藤

TEL：0853-20-0206

Mail：t-arito@admin.u-shimane.ac.jp

協定大学(大邱韓医大学校)と オンラインプログラムを開催しました

～ With COVID-19 Online Global Program for
enhancing students' capability ～



THE UNIVERSITY OF SHIMANE
公立大学法人 島根県立大学



대구한의대학교
Daegu Haany University

新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度は学内での学修や演習、オンラインでの招致講義など、様々な工夫を凝らして開講された異文化研修Ⅰ（韓国）の授業の集大成として、8月23日（月）、24日（火）に協定校である大邱韓医大学校（Daegu Haany University）の栄養学部及び看護学部とオンラインによる交流プログラムを実施しました。with covid-19 Online Global Program for enhancing student's capability と題し、「with コロナ時代における学生の専門的な能力を養うオンラインプログラム」として、双方の学生が専門分野や自国の文化を発表しました。

【大邱韓医大学とのオンラインプログラム概要】

日 程：令和3年8月23日（月）10：00～12：30（健康栄養学科）
令和3年8月24日（火）10：00～12：30（看護学科）

方 法：オンライン形式（ZOOMを使用）

内 容：双方の大学でそれぞれ大学紹介2名、専門分野についての発表3名、自国の文化についての発表2名のプレゼンテーションを行い、質疑応答によって相互理解を深めた。

参加学生：看護学科1年生13名、看護学科2年生1名

健康栄養学科1年生11名、健康栄養学科2年生3名

この他、招致講義で講師としてお越しいただき、蔚山大学校へのダブルディグリープログラムによる留学体験について語ってくれた総合政策学部4年生の三島峻雅さん、島根県国際交流員の李姫炫さんが通訳兼アドバイザーとして参加してくださいました。



令和3年9月9日
島根県立大学浜田キャンパス
総務課 松井・楫野
TEL : 0855-24-2200

令和3年度公立大学法人島根県立大学職員採用試験の実施について

1. 試験区分及び採用予定人員

事務：若干名

保健：1名

2. 申込受付期間

事務：令和3年9月17日（金）～10月21日（木）

保健：令和3年9月17日（金）～11月18日（木）

午前8時30分～午後5時15分

（土曜日、日曜日及び祝日を除く。昼休憩（正午から午後1時）を除く。）

※郵送の場合、事務は10月21日（木）、保健は11月18日（木）消印有効

3. 申込先

島根県立大学浜田キャンパス 総務課

（〒697-0016 島根県浜田市野原町2433-2）

4. 1次試験日

事務：令和3年11月7日（日）

保健：令和3年12月5日（日）

5. 受験案内

浜田キャンパス総務課、出雲キャンパス管理課、松江キャンパス管理課で配布します。

また、受験案内は大学ホームページにも掲載しております。

<ホームページアドレス><https://www.u-shimane.ac.jp/foundation/13offer/>

令和3年9月9日

島根県立大学 浜田キャンパス

学生支援課 福間

安全安心ロードの指定について

○概要

浜田警察署より、学生や児童の安全確保を目的に、浜田市と連携して、浜田市竹迫町及び野原町地内の市道が「安全安心ロード」に指定され、令和3年8月24日に指定式が行われました。看板の除幕には、当学から清原学長をはじめ防犯サークル SCOT の学生が参加しました。

今後は、防犯カメラの設置等の安全対策を講じて犯罪や交通事故が発生しにくい環境を整えるとともに、道路利用者の防犯・安全・安心確保を目的にパトロール強化や見守り活動が行われます。

○指定路線

山陰中央新報西部本社ビル前交差点から島根県立大学バスロータリー入口までの2.3キロ

○看板設置場所

浜田市竹迫町 1901 番地 35

(島根県立大学住宅供給公社浜田住宅管理事務所前交差点)



高校生のみなさん、 大学図書館を利用してみませんか？

県大浜田キャンパス図書館は、海に見える丘に立つ静かで清潔な図書館です。

大学図書館ならではの専門書や外国語の図書・雑誌・新聞などが多数そろっています。

読書に、試験勉強に、もちろん図書の貸出もおこなっています。皆様のご利用をお待ちしています。

※浜田キャンパス図書館では、新型コロナウイルス感染症対策に取り組んでいます。ご利用にあたっては、図書館ホームページ（学外利用者の方）で詳細をご確認ください。



浜田キャンパス図書館ホームページ



キャンパスマップ

お問合せ
島根県立大学浜田キャンパス図書館
TEL:0855-24-2204
Mail:h-library@u-shimane.ac.jp

～学生のみなさんへ～

「新型コロナウイルス感染予防に関する学長からのお願い」

本学では、新型コロナウイルス感染症の拡大予防のため、対面授業を主体としながらも授業によっては遠隔授業等を組み合わせて実施してきました。また、課外活動等においても活動制限を行ってきました。この間、学生のみなさんの健康を守ることと学修を両立させるため、本学教職員一同努力をしてきたところです。

慣れない環境のもとで学生生活を送られるみなさんには、本学の対応に対してご協力をいただいていることを心から感謝します。

さて、新型コロナウイルスの感染は、感染力が著しく強いと言われている「デルタ株」の拡大によって、全国的にも、島根県内でも、急激な勢いで新規陽性者の増加が続き、感染が拡大する厳しい状況が続いています。

こうした状況を踏まえ、あらためて私からお願いがあります。

（お願い その1）基本的な感染対策の継続

感染者の内訳をみると、高齢者へのワクチン接種が進んだことで60代以上の感染者が減少する一方、ワクチン接種が進んでいない20代、30代の若い世代で感染者が増加しています。学生のみなさんは、同世代の若者が感染者の大きな部分を占めている現状をよく理解し、今までにもお知らせをしてきておおり、マスクの着用、手洗い、手指消毒、感染対策が十分に実施されていない場所へ立ち寄らない等の基本的な取組みを継続してください。

（お願い その2）ワクチン接種の勧め

今では対症治療が進み、新しい治療法も承認され、またワクチン接種も進んでいます。

学生のみなさんの中には、自治体による接種等により、現地点で把握しうる限りでは、浜田キャンパスで約3割、松江キャンパスで約9割の方が接種を終えられています。また、出雲キャンパスでも約9割の方が接種を終える予定とうかがっています。

日本で接種が進められている新型コロナワクチンは、いずれも、新型コロナウイルス感染症の発症を予防する効果や、重症化の予防に大きな効果があると言われています。

一方、みなさんの中には、ワクチンの安全性や有効性への疑問、副反応への不安、デマ情報への戸惑い等があることは承知していますが、正しい知識に基づいて判断すれば、ワクチン接種は、まれに重大な副反応があるにしても、効果の方がはるかに大きいと考えられています。

もちろんワクチン接種を強制するものではありませんので、最終的な判断は皆さん自身が決めることですが、私としては上記の理由のとおり、未接種の方には是非接種を受けていただきたいと思います。今後実施される自治体での接種、帰省先での接種、職域接種など自身が都合の良い環境で接種していただけたら幸いです。

みなさんに感染対策をお願いしてからすでに1年以上が経過し、多くのみなさんが感染対策に疲弊している頃だと思いますが、ここで手を緩めるわけにはいきません。

報道によると、今年から来年中の実用化を目指した効果の高い飲み薬の開発が急ピッチで進められているとも聞きます。コロナ禍以前の私たちの日常生活に戻るまで、もうしばらく感染対策を徹底した行動に心掛けてください。

令和3年9月1日

島根県立大学学長

島根県立大学短期大学部学長

清原 正義